

コクチバス (サンフィッシュ科)

体長 26.0cm

学名 : *Micropterus dolomieu*

別名 : スモールマウスバス, バスなど

大きさ : 全長 50 cm

特徴 : スズキに似た体形で、体色は暗い黄褐色。体の側面に 8~15 本ほどの不規則な横縞がある (へい死個体では不明瞭)。口が小さく、上あごの後端は眼の中央を越えない。オオクチバスとは、体の模様や口の大きさ、背びれの形状、側線の位置などで区別できる。魚や甲殻類、昆虫などを食べる。

国内での分布 : 日本各地の湖沼や河川

県内での分布 : 那珂川, 鬼怒川, 小貝川, 利根川, 那珂川以南のダム湖とため池の一部。県内の那珂川では 2006 年に確認された。1999 年には霞ヶ浦の流入河川の桜川で 1 個体採捕された記録があるが、霞ヶ浦と北浦では現在まで確認されていない。

県内での生態 : 那珂川での産卵期は 5~6 月。オスは流れが緩く障害物に近い砂礫底や礫底に産卵床をつくり、生まれた卵とふ化仔魚を保護する。産卵床から巣立った仔魚は約 20 日後には全ての鰭が完成し稚魚



写真 : 体長 2.1cm の稚魚。より小さい頃には横縞は表れていない。

となる (写真)。仔魚や稚魚はマルミジンコ類などの小型甲殻類やユスリカ類の幼虫、仔魚などを食べて成長するが、成長とともに魚食性が強まる。成熟はオス、メスともに体長約 20 cm から。遊泳力が強く、水温が高い季節には、河川でも流れの早い瀬のようなところにも現れる。

備考 : 那珂川では漁業者らが駆除活動を行っている。本種は北アメリカ原産。外来生物法で特定外来生物に指定されている。

主な文献 :

荒山和則・須能紀之・山崎幸夫 (2008) コクチバスによる産卵場と成育場としてのワンドの利用. 茨城内水試研究報告, 41: 1-8.